

事業所名 グループホーム ひなたの家

作成日: 平成 31 年 1 月 4 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	日常的な外出支援	家族の協力を得て買い物や外出に行ったり、定期的に季節毎の花見に出かけているが、利用者が重度化し全員での外出支援が困難となっている。季節行事だけでなく、個々の希望に沿った小さな外出の機会を増やし、利用者の楽しみを増やしていく事に取り組んでいく。	自然豊かな環境にあるので、天気の良い日にはホーム周辺に散歩へ出かけ、利用者の喜びや楽しみに繋がる外出支援を増やすよう取り組み、勤務体制を見直し、職員のチームワークで短い時間でも外出の回数が増える事を目指す。	12ヶ月
2	15	運営推進会議を活かした取り組み	家族の代表や民生委員・包括支援センター職員が参加し、ホームの取り組みや課題を報告しているが参加者が固定化しているため、会議の内容が画一化傾向となっているので新たな参加委員を増やし、斬新な意見を取り込む事で充実した会議内容となる事を目指す。	新たに参加委員を有識者や複数の民生委員から参加を募り、行事と一緒に体験するなどの企画を取り入れて会議内容の活性化を図る。また、ホームの運営・サービス向上だけでなく、家族や地域の人が知識や情報を得られ、毎回参加したいという魅力的な会議となるよう取り組んでいく。	12ヶ月
3	16	災害対策	今年の西日本豪雨災害で防災意識も高まり、消防署の協力を得て避難訓練を行っているが、夜間を想定した訓練が不十分である。様々な災害を想定した訓練を計画し、日頃から地域の方にもいざという時に協力を得られる訓練を行うことを目指す。	夜間を想定した訓練を日頃から行い、訓練を通じて課題を明確にすることで災害発生時に職員が冷静に対応できるような体制作りを構築するよう取り組んでいく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。